

第53回

神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のお題は「7」。7が詰将棋と所縁の深い数であり、本号が詰バラ通巻777号であることにも鑑み、7にちなんだ作品を揃えました。なお、ルール名は「ばか」を「協力」、「自殺」を「自玉」と表記しています。

【ルール説明】

【キルケ】駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。

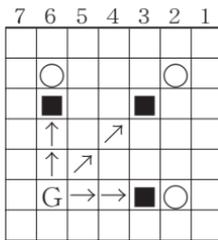
【Grasshopper (G)】フェアリーチェスの駒。クイーンの上で駒を1枚跳び越し、直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。

【補足】

- (1) 敵味方どちらの駒も跳び越せる。
- (2) 跳び越さないと動けない。

(3) 2つ以上の駒は跳び越せない。

一 二 三 四 五 六 七



(○がGの利き)

【打歩】打歩以外の詰を失敗とする。

【天使詰 (最長協力詰)】先後協力して最長手数で受方玉を詰める。

【補足】

- (1) 悪魔詰と異なり不詰は避ける。
- (2) 手順中に同一局面があつてはならぬ (初形を含む)。

【●】不透過・不可侵の領域を表す。

【最悪詰】攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。

【出題作についての補足】

- (1) 初形「七」。盤面七色。手数7+7+7。777号記念の軽作です。

②は受方持駒制限あり。7枚の歩がキルケ特有の手筋を見せてくれます。

③は7手詰。持駒4枚がヒントです。

④は持駒7種。自玉を打歩で詰める手段は限られるので、詰上りを先に予想しましょう。

⑤は狭い空間で少ない駒を使って77手詰を探す作品。迂闊に手を進めると同一局面が出やすいのでご注意ください。

⑥は必見。7との関連は敢えて書きません。協力系ルールではないので、変化・紛れをしっかりと読んでください。

懸賞問題

▼締切12月末日。呈賞5名。解答は編集部または左記アドレスへ

E-mail: kyro.ts@gmail.com

メール解答の際は件名に「解答」の語句を入れてください。

▼評価点不要。短評歓迎。1題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送って下さい。

